

ウツデイ エイジ

◎木材の研究と普及◎ 監修：北海道立林産試験場



カラマツ構造用集成材の耐火性能について

ウツデイ エイジ

木材の研究と普及
第57巻・通巻663号

目 次

カラマツ構造用集成材の耐火性能について	1
木質ペレットの利用と環境負荷	4
「NHK おはようもぎたてラジオ便—北海道森物語—」林産試版 「北海道型ペレットストーブの開発と普及」	7
第16回北海道こども木工作品コンクールを終えて	9
連載「道産木材データベース」	12
〔ストローブマツ〕	
Q&A 先月の技術相談から	14
「日本産と中国産のシナノキの接着・塗装性能」	
行政の窓	15
「木材・木製品の貿易動向について」	
林産試ニュース	18

古建築シリーズ ③



明治村 北里研究所本館・医学館

八角尖塔が特徴的なこの建物は、日本細菌学の先駆けとなった北里研究所の本館で、北里が細菌学を学んだドイツのバロック建築の要素を取り入れた、堂々たる木造総二階建ての建物となっています。

表紙写真の下部に見られる紋章は「破傷風菌」と月桂樹をあしらったもので、現在の北里学園の校章にもなっています。